



東陽中学校

東陽中学校・学校だより

5月号 平成27年4月23日

【教育目標】

- ①心身ともに逞しい生徒の育成
- ②自主的に行動できる生徒の育成
- ③賢さと品位のある生徒の育成

平成27年度が始まりました。108名の入学生、9名の教職員を迎え、全校生徒346名、教職員30名でのスタートです。

4月8日(水)、午前中に始業式、午後から入学式を行いました。

入学式には、多くの来賓の方々と保護者の方々に出席していただきました。ありがとうございました。

入学式の新入生呼名では、入学生一人ひとりが力強く返事をしました。また、田辺第一小学校からの入学生、神谷舜生君は、堂々と新入生宣誓を行ってくれました。7つの小学校から入学した108名のこれからの三年間の中学生生活に期待したいと思います。保護者のみなさま、地域のみなさま、本年度も本校教育活動にご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年度 **始業式** 学校長式辞

今日から新しい年度(平成27年度)が始まります。本日、1年生は、中堅学年の2年生に。2年生は、最高学年の3年生になりました。

2年生は、入学してくる1年生の良き先輩に、そして学校の中心的リーダーに。3年生は、最高学年としての自覚を持って、たくさんの思い出を作りながら、自分の進路を決めていく大切な一年間にしてもらいたいと思います。そして、育成学級のみなさんも、仲間が増え、お互いに助け合う素晴らしい学級をつくりましょう。育成学級は、生徒のみなさんの支えや理解・協力が必要な学級です。共に仲良くしていきましょう。本校の校訓は、これまで皆さんもよく知っている『品位と賢さ』です。三年間で最も大切にしたい目標です。この校訓の『品位と賢さ』を達成するためには、放っておいて自然にそれが身につくことはありません。

毎日、当たり前に行われることが、きちんと積み上がっていかなければ実現しません。当たり前のことをきちんと行うことを『凡事徹底』と言います。『凡事』とは、当たり前のこと。『徹底』とは、きちんと行うことです。

東陽中のみなさんには、当たり前のことが立派にできる生徒を目指して欲しいと思います。

それでは、みなさんに取り組んでももらいたい今年度の三つの大事な『凡事徹底』をお話しします。一つ目は「しっかりあいさつをしよう」二つ目は「授業や部活動を大事にしよう」、三つ目は「素直な心をもとう」です。

最初の「しっかりあいさつをしよう」については、東陽中の生徒のみなさんは部活動などでは、できているように聞いていますが、校内でのあいさつはもちろんのこと、登下校時や地域の方々にも進んで「さわやかで大きな声でのあいさつ」ができるようにしてください。特に、毎月の1日と15日には、明るい笑顔街いっぱい運動や交通指導で地域の方々がたくさん、私たちのために朝早くから立ち番をしてくれています。

「おはようございます」
「ありがとうございます」
「さようなら」が
当たり前のこととして、
どこでも言える生徒になっ
てもらいたいと思いま
す。



二つ目の、「授業や部活動を大事にしよう」は、中学校でのほとんどの時間は、教科学習・道徳・総合の時間・特別活動ですが、授業に集中し熱心に取り組むことで内容がよく分かり、復習をすることで理解の定着が進み、一人ひとりの成績はぐんぐん伸びてきます。部活動も日々の努力の積み重ねが、一人ひとりの成長につながります。先生方は、少しでも君たちが意欲を持って学習や部活動に取り組めるよう、工夫しながら指導をしていきますので、日ごろから自分なりの精一杯の力を出してってください。

三つ目の、「素直な心をもとう」というのは、思春期のまっ只中にいる君たちには、悩みもあり少し難しいことかも知れませんが、友達との間で、先生との関係の中で、家庭で保護者とのふれあいや話し合いの中で、「素直な心」で接することを大切にしたいです。一人の人間として、周囲の人たちとコミュニケーションがとれ、色々な考えや意見を吸収し、よりよい人間関係がつけられるよう成長してもらいたいと思います。そのスタートは、「素直な心をもつ」ことから始まると思います。

始業式に当たって、この3点、「しっかりあいさつをしよう」「授業や部活動を大事にしよう」「素直な心をもとう」を本年度の『凡事徹底』として心にとどめ、担任・副担任の先生、クラスの仲間、君たちに関わってくれている多くの方々とのお会いを生かし、意欲ある新学年のスタートを切ってください。

平成27年4月8日

東陽中学校 校長 佐武正章

佐武正章先生はこのたびの人事異動で明洋中学校から着任されました。

中部公民館だより 平成27年5月号

発行：田辺市中部公民館

田辺市中部公民館事務局

〒646-0036

田辺市上屋敷一丁目2-1 (田辺第一小学校内)

館長 橘 勲 主事 宮原 政典

TEL 22-0009 FAX 34-2914



いま、巨大地震が！

近い将来発生が予想される巨大地震。国や自治体も喫緊の課題として、各種対応を進めているところですが、地震が発生したときに、一番大切なのは自助「自らの命を守ること」です。地震が発生してからの2分間は『命を守る時間帯』と言われていて、この時間帯の行動がとても重要です。

では、具体的にはどうすれば良いのでしょうか。まず、屋内ならば丈夫な机の下などにもぐり落下物からまず頭を守ります。この際に、できる限り固定されていない大きな家具、調理中であれば台所から離れましょう。屋外であれば、ブロック塀から離れて、カバンなどで頭を守りましょう。怪我をすると、その後の避難行動にも支障が出てきます。まずは、怪我をしないことが大切なのです。

次に、大きな揺れが治まれば火の元を確認して、すぐに近くの高台に避難を開始してください。(自宅の近くの高台や避難先が分からない方は、公民館までご相談ください。防災士の資格を持つ公民館主事が対応させていただきます。)

避難行動を円滑に行うためにも、自宅から避難先までの経路を確認したり、よく出かける場所の近くにある高台や、避難できそうな場所を確認しておきましょう。

田辺市合併10周年記念 第23回文協フェスティバル開催のお知らせ

主催：田辺市文化協会

【展示部門】

日時：平成27年5月16日(土)・17日(日)午前9時～午後5時(お茶会は午後4時まで)

会場：紀南文化会館

展示ホール(1階) 書道・洋画

小ホール(4階) 生花・革細工・押し花・ちぎり絵・陶芸・川柳・収集色紙・紀州てまり・水墨画

研修室(4階) 古谷石・俳句・短歌

お茶席(4階)

【舞台部門】

日時：平成27年5月23日(土)・24日(日)・31日(日)※開演はすべて午後1時30分

会場：紀南文化会館 大ホール

5月23日(土)第1部 詩吟・尺八・日本舞踊・箏曲・津軽三味線

24日(日)第2部 大正琴・新舞踊・詩舞・剣舞・三弦・民謡・津軽三味線

31日(日)第3部 アコーディオン・太極拳・バレエ・合唱・社交ダンス・タヒチアンダンス・太鼓

明るい笑顔まちいっぱい運動 あいさつ・声かけ運動定期運動日程

5/1(金) 6/1(月)

時間：午前7時30分～8時 場所：田辺第一小学校 正門及び裏門前ほか



学校・家庭・地域が一体となった安全なまちづくりを進めるため、みなさまのご協力をお願いします。

紀の国わかやま国体・大会 田辺市合併１０周年記念 「田辺湾クリーン作戦！」 ～国体・大会をゴミ一つない和歌山で！～

紀の国わかやま国体・わかやま大会や田辺市合併１０周年に当たって田辺市に多くの方が来られます。
おもてなしの意味も込めまして、クリーン作戦を次の日程で実施します。

田辺湾クリーン作戦は清掃活動等を通じて、みなさんの海岸漂着物等の問題に対して理解を深めること、また自然環境の保全や環境美化に関する意識を高めることも目的としています。みなさんのご参加よろしくお願いします。

- 日 時 5月30日（土）午後1時30分～（1時間程度）
○小雨決行。荒天の場合は翌31日（日）に延期。（開始時刻同じ）
○延期または中止の場合は両日とも午前10時30分に防災無線で放送します。

- 集合場所（中部地域） 上屋敷町内会館
- 清掃場所（中部地域） 会津川河口（上屋敷側）及び戎漁港付近
- お問合せ 環境課 環境対策係（0739-26-9927）

☆ごみについて

○ごみは4分別（燃えるごみ・資源ごみ・プラスチックごみ・埋立てごみ）にして、同じ袋に混合しないでください。※ごみは絶対に燃やさないで下さい。

○ごみ袋、軍手は当日お配りします。

○毎年、蒸し暑い中での作業となっております。以前に熱中症で体調を崩した方がいらっしゃいました。市が加入する保険では熱射病、熱中症等が対象外になっております。くれぐれも体調管理に注意してご参加いただきますようお願いいたします。

秋津川公民館からのお知らせ

第19回 山の唄 炭やきむら 俳句大会 参加者募集！！

主 旨 田辺市秋津川は、緑の山並みに囲まれ、水清く人情豊かで素朴な山村であり、江戸時代より備長炭発祥の地として栄えた木炭の生産地であります。これを後世に伝える、紀州備長炭記念公園がオープンして17年目を迎えます。

このことを記念するとともに、山村の豊かな自然と歴史文化を再認識するため、本年も俳句大会を開催いたしますので、文芸愛好の多くの皆さんからのご投句と大会へのご参加をお待ちしております。

- 出 句
- （1）兼題 炭及び山村風物と山村生活に関するもの
 - （2）未発表のもの5句1組（1人3組までとする。）
 - （3）整理料一組につき1,000円。出句の際に大会事務局へ納めること。
（郵送で出句の場合は、整理料分の郵便小為替を同封のこと。）
 - （4）作品は200字詰原稿用紙等に黒色のペンまたはボールペンで楷書で丁寧に書き、各句はマスをあけずに上部から連続して書くこと。なお、まえがき及び読みがなはつけない。
 - （5）出句の用紙には、作品の他に、郵便番号、住所、氏名（俳号がある場合は俳号も）電話番号を明記すること。
 - （6）選者は出句できない。（当日句会を除く。）

出句期間 平成27年5月1日（金）から 同年5月29日（金）必着のこと
出 句 先 〒646-0001 田辺市上秋津2083-1 秋津川公民館 俳句大会 係
選 者 松本幹雄、中瀬喜陽、峰山 清、川口 修、の各先生

- 大 会
- ①日 程 平成27年7月20日（月・祝）午後1時から（受付：正午～午後1時）
 - ②会 場 田辺市紀州備長炭記念公園
 - ③内 容 募集句の入賞発表・表彰及び当日句会
 - ④当日句会（出句）一般の部 1人3句（受付：正午から午後1時まで）

そ の 他 類似句があることが判明した場合、入賞を取り消します。

問い合わせ先 秋津川公民館 担当 藤田（上秋津公民館内）TEL 0739-35-1022



五月人形ロビー展を開催しました

先月の雛人形展示会に引き続き、4月14日から5月1日までの間、中部地域在住の有志が中心となり、地域の子どもの健やかな成長を祈念して、中部公民館のロビーに五月人形を展示しました。

現代では、5月5日に鎧兜（よろいかぶと）や鯉のぼりを飾り、お祝いをするのが一般的ですが、なぜ、こどもの日が、別名「端午の節句」とよばれているのでしょうか。

節句の「節」とは、季節の変わり目の意味のことで、江戸時代に五節句（人日1月7日、上巳3月3日、端午5月5日、七夕7月7日、重陽9月9日）が定められ、そのうち、上巳（雛祭り）端午（こどもの日）七夕は民間行事として現代でも行われています。

その一つが「端午」で、本来は五月の最初の午の日のことをいいます。※端午の端は「はじめ」という意味

しかし、奈良時代以降、午という文字の音読みが「ご」であることから、5月5日が端午の節句として定着したそうです。

節句飾りにも由来があり、諸説ありますがその一つをご紹介します。

鎧兜を飾る風習は、武家社会から生まれたものです。鎧兜は自分の身体を護る大切なものであることから、事故や病気から大切な子どもを守る願いを込めて飾るようになりました。

鯉のぼりを飾る風習は、江戸時代の町民文化から生まれたものです。鯉は池や沼でも生きることの出来る、生命力の強い魚です。その鯉が滝を登ると、竜になって天に昇っていくという中国の伝説にちなんで、子どもが逆境に耐えて、立身出世するようお願いを込めて飾るようになりました。

このような、地域のみなさんの心のこもった取り組みは、公民館としても大変嬉しいことです。

みなさんの思いを形にするために、中部地域の公民館「中部公民館」を活用してください。利用方法等について分からない方は、中部公民館までお気軽にご相談ください。



中部地区では、民生児童委員18名と主任児童委員2名が、身近な相談相手としてそれぞれの地域で活動しています。

日々の暮らしの中で、困り事、悩み事等がございましたら、お気軽にご相談ください。

相談内容の秘密は必ず守ります。

中部地区民生児童委員協議会